

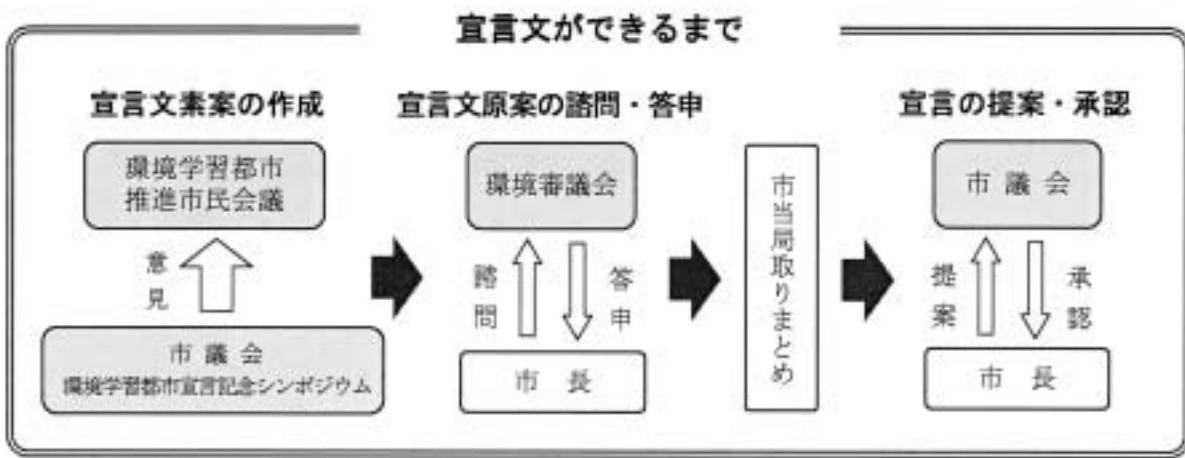
# 市民・事業者・行政の協働で

# 宣言文を策定

環境学習都市宣言の宣言文は、環境学習都市推進市民会議において起草され、西宮市環境審議会へ諮問し、宣言文案として答申を受けました。

そして、宣言文案を12月2日の議員総会において、山田市長より提案し、「環境学習都市宣言」を行うことについて承認されました。

市民、事業者、行政の協働で行われた宣言文の策定経過についてご紹介します。



## 環境学習都市推進市民会議

平成15年5月に、市民の参画と協働による環境学習事業を推進し、持続可能なまちづくりを進めるために、市民、事業者、行政のパートナーシップ組織である環境学習都市推進市民会議を設置しました。メンバーは市民関係者7名、企業関係者5名、専門家5名、教育関係者2名、行政関係者4名で構成されています。

宣言文の起草にあたっては、市民会議の委員で構成される宣言文案起草部会を設置しました。

これまで、市民会議を3回、部会を6回開催し、宣言文の素案を作成しました。

## 環境審議会

西宮市環境審議会は、西宮市環境保全条例第8条の規定に基づき設置されている市長の附属機関です。

山田市長から宣言文案について諮問し、平成15年11月11日、答申を受けました。

## 市議会

平成15年12月2日、議員総会において、山田市長が宣言文案を提案し、環境学習都市宣言を行うことが承認されました。

## さくらFMで表明

平成15年12月14日、山田市長は、西宮コミュニティ放送・さくらFM(78.7メガヘルツ)を通じて、市が環境学習都市宣言を行うことを表明しました。

## 宣言に向けて市民の声を反映

小学生、中学生、高校生の3名が、「20年後の西宮の姿」をテーマとしたスピーチを行いました。

また、環境学習都市推進市民会議委員長より宣言文案案を紹介し、来場者からの意見もパネルディスカッションに反映させました。



鳴尾北小学校6年 田中美帆さん



浜脇中学校3年 尾崎絢果さん



兵庫県立西宮高等学校2年 吉田万里さん

## 環境省事務次官 特別スピーチ



特別スピーチとして、環境省事務次官の炭谷茂氏が、昨年10月に施行された「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」の内容や環境教育の意義について話され、本市の取り組みについても高い評価をいただきました。

炭谷氏は、平成15年は、世界で初めて環境教育に関する恒久法が施行されたことから「環境教育元年」として、この年に環境学習都市を宣言することは意義深いことであると述べられました。

## 環境学習都市宣言記念シンポジウム

平成15年10月29日、都市宣言に向けた取り組みを内外に表明するためにシンポジウムを開催しました。



「環境学習を通じた次世代を育むまちづくり」をテーマに行われたパネルディスカッション

## 西宮市・バーリントン市 共同声明調印式

本市とは、3年来の交流があり、持続可能なまちづくりを先進的に進めている米国バーリントン州バーリントン市長ヒーター・クラベル氏が、バーリントン市の取り組みについて講演を行いました。

また、本市とバーリントン市は、持続可能なまちづくりに向けて、それぞれが協力して取り組みを進めることを表明し、管市議会議長、炭谷環境省事務次官の立会いのもと、共同声明調印式を行いました。

